

ANTOINE

パリ・ブールデル美術館所蔵 巨匠ブールデル展
《弓をひくヘラクレス》

BOURDELLE

2007年 9月21日(金) - 11月4日(日)

●休館日=月曜日 9/24と10/8の月曜日は開館、翌9/25と10/9の火曜日は休館

●開館時間=火~金曜日(9:30~19:00) / 土・日曜日・祝日(9:30~17:00) / 入室はいつでも閉館30分前まで / 初日は午前10時開展式

●入場料

一般 1,000円(800円)

高大生 500円(400円)

小中生 300円(240円)

※()内は前売りおよび団体20名様以上の料金
前売りは美術館1階受付にて開催前日まで販売

※65歳以上の方(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料

※会期中の土曜日は小・中・高生入場無料

主催=高松市美術館 / 西日本放送

共催=NHK高松放送局 後援=フランス大使館

特別協力=パリ・ブールデル美術館

協力=JAL 日本航空 企画協力はプレントラスト

Takamatsu City Museum of Art

高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel.087-823-1711
ホームページ <http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/647.html>



Antoine Bourdelle

1861-1929

D'UN SIÈCLE L'AUTRE

l'eurythmie de la modernité

《弓をひくヘラクレス》 1988年 ブロンズ Photo ©Musée Bourdelle, Paris, André Morin



オーギュスト・ロダンの胸像 1909年
Photo © Musée Bourdelle, Paris



両手のあるベートーヴェン 1905年頃
Photo © Musée Bourdelle, Paris

エミール=アントワーン・ブールデル(1861~1929)。彼はロダンを師として尊敬し、ロダンもまた彼の芸術の最も深い理解者でした。この偉大な二人の彫刻家が遭遇することで、近代彫刻はその革新の出発点を迎えます。すなわち、ブールデルはロダンの彫刻の肉付けと明暗の秘技を知り、さらにその制約を超えて、人体の自由奔放な建築的造形に向かっていくことになったのです。

こうして、ブールデルの作品は、欧米はもとより日本でも多くの美術館や個人に収集され、1968年の国立西洋美術館での個展をはじめ、展覧会も数を重ねられました。

23歳で南フランスからパリに出てきた若い彫刻家が、ほどなくアトリエを構えて生涯を過ごすことになった、モンパルナス近くのその場所に現在、「ブールデル美術館」があります。本展は、このブールデル美術館の全面的な協力のもと、巨匠の全貌をあらためて顕彰するものです。彫刻75点、絵画・デッサン48点という構成で、ブールデルに親しみを持つ往年のファンはもちろん、今回はじめて出会う人たちにも、彼の作品の魅力を様々な側面から紹介いたします。およそ20年ぶりに日本で開催される待望の展覧会を、どうぞお楽しみください。

記念講演会「ブールデルの魅力」

日時:9月29日(土)午後2時~
講師:千足伸行氏(美術史家、成城大学教授)
会場:当館1階講堂 聴講無料(先着200名)

アートをしゃべらあ〜と

クイズやゲームを交えて、ブールデル作品を何倍も楽しみましょう!
日時:11月3日(土)午後3時~4時30分
会場:当館2階展示室ほか
対象:中学生以上一般20名
参加費:観覧券が必要(事前申込制)

手による鑑賞

対象:視覚障害者
日時:会期中の希望日(お応えできない場合はご了承ください。)
申込方法:予約制(原則は来館の5日前までに電話を!)
※当日のお申込みも少人数であれば、可能な限り受け付けますが、お待ちいただく場合もあります。
※1回につきグループは5人まで。ご案内は当館学芸員。

子ども向けのプログラム

(詳細お問い合わせ・お申込は美術館まで。事前申込制)
●まるごと探偵クラブ「ブールデルのひみつを探せ!」/10月20日(土)午前10時に1Fエントランスホールに集合!(活動は正午まで)/小学生60名 参加無料
●子どものアトリエvol.14「ねんどで動物をつくろう!」講師:さとうゆうじ氏(彫刻家)/10月28日(日)午前の部・午後の部※どちらかをお選びください。/小学生以上一般 各20名/参加費400円(材料費別途)
●アートで遊ぼう!(鑑賞プログラム)/11月3日(土)[ブールデル展]:12月1日(土)[コレクション展 I]・1月12日(土)[コレクション展 II]・2月23日(土)[太田備展]/午前9時30分~11時/小学3~6年生15名(先着順)/なるべく4回連続で受講してください。参加無料

ギャラリートーク(観覧券が必要)

●当館学芸員が展示作品の解説をいたします。9月22日(土)午後2時~。2階展示室にて
●美術館ボランティア「civi(シヴィ)」とともに鑑賞しませんか。毎日曜日と祝日の午前11時~と午後2時~の1日2回。2階展示室にて

次回催物のお知らせ

高松市美術館コレクション展 I 11月23日(金・祝)~12月9日(日)



アポロンの頭部(大台座付、最終作) 1898-1909年
Photo © Musée Bourdelle, Paris



果実(果実の裸婦)〈小〉(習作) 1906年
Photo © Musée Bourdelle, Paris



ペネロペ〈中〉(つまみ先が見え紡績のない最終作) 1905-09年
Photo © Musée Bourdelle, Paris



ザッフォー〈大〉(第2習作) 1887-1925年
Photo © Musée Bourdelle, Paris



剣を持つ戦士〈小〉 1896-97年
Photo © Musée Bourdelle, Paris

ANTOINE BOURDELLE



参考:ブールデル美術館(パリ) 谷 哲夫 撮影



参考:ブールデルのアトリエ(ブールデル美術館内、パリ) 谷 哲夫 撮影



交通のご案内

JR四国-JR高松駅下車、南へ徒歩15分
ことでん-五町駅、片原町駅下車、徒歩10分
バス路線-(ショッピング・レインボー循環バス) 紺屋町バス停下車、徒歩2分
駐車場-美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)